

1. 科目名 (単位数)	教育相談 (カウンセリングを含む) (初等・幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3214
2. 授業担当教員	森 慶輔		
4. 授業形態	講義・演習 (ディスカッション、グループ学習)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	教育相談とは、幼稚園・小学校や中学校・高等学校など教育現場において、幼児・児童・生徒のこころの問題を扱うだけでなく、幼児・児童・生徒を取り巻く家族や友人状況、地域・家庭の教育力の低下等、家庭や社会環境の変化なども考慮しながら進められていく、教育現場における心理的な支援活動である。本授業では、教師あるいはスクールカウンセラーが行う教育相談活動について、幼児・児童・生徒を理解するために必要な知識や方法およびカウンセリングを含めた実際の介入方法などについて、知識を深めロールプレイや討論も交えながら実践力を身につけることを目的とする。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.教育相談の意義と目的、内容と領域について理解し、説明することができるようになる。</li> <li>2.教育現場における教育相談の基本的視点、展開の方法について理解し、説明や討論 (事例検討も含める) をすることができるようになる。</li> <li>3.教育相談を効果的に展開するため、枠組みとなる代表的なカウンセリングの理論と技術について理解し、説明やロールプレイをすることができるようになる。</li> <li>4.教育相談の治療的、予防的、開発的側面や現代の諸課題について理解し、説明や討論をすることができるようになる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	ディスカッション等を中心に講義を展開する予定である。そのためアサインメントは教科書の該当ページを精読することである。必要に応じて文部科学省、内閣府などのWebページも閲覧する。レポート課題については第1回の講義で説明する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<b>【教科書】</b> 本間友巳編著『学校臨床』金子書房, 2012 文部科学省『生徒指導提要』教育図書, 2011 ※文部科学省ホームページよりダウンロード可能 <b>【参考書】</b> 必要に応じて、適宜資料を配付する。また、他に参考書がある場合はそのつど紹介する。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育相談の意義と理論を理解し、説明できるか。</li> <li>2. カウンセリングに関する基礎的・基本的事項を理解し、説明やロールプレイをすることができるか。</li> <li>3. 教育相談の具体的な進め方やポイントを理解し、組織的な取り組みや他機関との連携の必要性、現代の課題を把握して説明や討論 (事例検討も含める) をすることができるか。</li> </ol> ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の学習状況、レポート等を総合して評価する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加 (発言、討議、態度、課題シートへの取り組み) 総合点の 50%</li> <li>2. レポート (小論文、中間レポートを含む) 総合点の 50%</li> </ol> 上記のほかに、本学の規定である 3/4 以上の出席が単位取得の条件であることも配慮する。		
12. 受講生への メッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 園や学校でおきている問題について扱います。将来幼稚園や小学校等で勤務した際にこうした問題に対応できるよう、講義への積極的な参加を望みます。</li> <li>2. この授業は受講学生のプレゼンテーションとその質疑応答を中心に行います。遠隔授業でなく対面授業になった場合でも同様です。またリアクションペーパーの提出を求めます。リアクションペーパー (課題シート) は Google フォームで実施します。</li> <li>3. 第6回から第14回は順不同に並べてあります。学生と協議の上、第6回から第14回の内容の順番を決めます。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	第1回の講義の際に指示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (シラバスの確認)	事前学習	シラバスを読んでおく
		事後学習	第6回から第14回までの内容について Web 等で調べておく
第2回	生徒指導と教育相談の現状と課題	事前学習	教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第3回	教育相談の理論と実際 (1) カウンセリングとコンサルテーション	事前学習	教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第4回	教育相談の理論と実際 (2) 臨床心理学的援助技法	事前学習	教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第5回	教育相談の理論と実際 (3) 教育相談の実際	事前学習	教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第6回	不登校・登園渋り	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第7回	いじめ	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第8回	外国人幼児児童への対応	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に目を通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく

第9回	児童虐待	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第10回	発達障害	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておくポイントをまとめておく
第11回	保護者対応	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておくポイントをまとめておく
第12回	緊急支援・学校危機	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第13回	子どもの貧困	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第14回	暴力行為	事前学習	発表者は準備をし、それ以外の受講者は教科書等の該当箇所に通しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく
第15回	まとめ	事前学習	今までの授業内容における疑問点を整理しておく
		事後学習	ポイントをまとめておく